

# 自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒



しただの郷学園  
下田中学校便り第7号  
令和3年10月20日発行



文責 校長 小林貴英

## 校長室の窓から

校長室で工作中、パソコンの画面から視線を少し上げると、グラウンドとテニスコート、そして下田体育館の屋根の向こうに粟ヶ岳が見えます。グラウンドで体育の授業をしているクラスがあるときは、生徒が頑張っている姿、楽しそうにしている姿を見たり、なかなか仕事が手に付かないことが多いです。



9月中旬の秋晴れの午前中、持久走に取り組む生徒の姿がありました。まだまだ暑さの残る時季の持久走は、走りたくないなという気持ちになってしまうことがあります。そのことをよくわかっている本校の体育教師は、授業が始まる少し前から音楽を流します。某テレビ局のマラソンのゴール間際に聞こえてくるあの曲です。「負けない〇～♪もう少し～」。これを聞いた生徒は頑張らずにはられません。授業が始まる頃にはやる気満々の生徒たち。校長室から見える生徒の後ろ姿からそう判断します。そしてスタート直前の教師からの「頑張れよ～！」に対し、気分が高揚した生徒たちは元気に「オー！」と応えます。表情は遠くて見えませんがきつと真剣です。仲間からの声援を受けながら、男子は1500M、女子は1000Mを走ります。自分に打ち克つ強さを育てている下中生です。



この1週間ほどのち、これまた秋晴れの日。校長室の窓を開けて涼しい秋風を感じながら仕事をしていると、聞き慣れない甲高い声が聞こえてきました。キャー、キーという叫び声はとも中学生が発するものではありません。なに？ だれ？ テニスコートの向こうに目をやると、芝生のうえで園児たちが走り回っていました。天気の良い日は園児の散歩コースになっています。楽しくて気持ちがいいと自然と声が出て、走り出したくなるようです。この園児たちは数年後、となりの土のグラウンドでもっとずっと長い距離を走るようになります。でも心配はいりません。下田中学校は気持ちのいい学校だから、声を出しながら笑顔で走れます。



# ルールとは？ マナーとは？ ～ 10月 全校朝会の話 ～

我が家から徒歩1分のところにスーパーがあります。しかし時々3分かかってしまうことがあります。なぜだと思いますか。・・・信号機のない横断歩道を渡るのですが、交通量の多い道路であり、行き交う車が止まってくれないのです。横断歩道を渡ろうとする人がいる時、車は止まらなければなりません。それがルールです。

さて、みなさんは車が止まってくれたとき、横断歩道をどんなふうに渡りますか。ゆっくり歩きますか、それとも早足ですか。歩き方にルールはありません。どんな歩き方でもいいです。しかし、車が少しでも早く発進できるように早足で歩くのはマナーです。そして止まってくれた人への「ありがとう」の会釈もマナーです。こういう行為はドライバーにとって嬉しく、気分のいいものです。私は次のように考えています。

ルール → 安全な社会 をつくる

マナー → 気持ちのいい社会 をつくる

学校にあてはめて考えてみます。

下田中学校の登校時刻は8時05分というのがルールです。  
8時05分を境に「良い」か「悪い」かがはっきりしています。

**登校時刻** **ルール**

8時05分

○

× 遅刻

「服装、持ち物の色」や「髪型」に関するものは、下田中学校ではルールであると同時にマナーであると考えます。

**服装、持ち物の色**

**ルール+マナー**

○

華美でないもの

×

**髪型**

**ルール+マナー**

○

中学生らしさ

×

「良い」か「悪い」かの明確なラインがないのです。「華美でないもの」とか「中学生らしい髪型」という表現です。このグレーゾーンをみなさんは個別に判断しなければなりません。判断基準は周囲の人たちが「気持ちいい」と感じるかどうかです。友達同士、または生徒と先生との間において判断が異なることがあるでしょう。判断が誤っている場合は、友達や先生が教えてくれます。「やめたほうがいいよ、こうしたほうがいいよ」「それは違うんじゃないかな」など、こんなやり取りをしながら、次第にあるべきこと・なすべきことが分かり、判断力が正しくなっていくのだと思います。

「授業中に話すこと」に関しては、ルールはありません。グレーゾーンに入れる言葉すらありません。私語をしないのは当たり前です。授業中の発言や友達との話し合いはどんどんしてほしいことです。いちいちルールは作ってられません。

**授業中に話すこと**

**(ルール)+マナー**

○

×

学校を卒業するとルールが少なくなります。正しい判断力が必要なのです。下田中学校はルールが少ない学校です。なぜだと思いますか。正しい判断ができる生徒が多い集団だからです。これからもルールに縛られない学校、マナーがあふれる気持ちのいい学校を目指していきましょう。